

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社
 コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

上場取引所 東大

(氏名) 小川 大介
 (氏名) 畑 理史
 配当支払開始予定日

TEL 03-6711-8121
 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	143,684	△31.3	5,115	△69.8	4,735	△71.7	2,129	△76.0
21年3月期第2四半期	209,201	—	16,939	—	16,736	—	8,877	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	5.98	—
21年3月期第2四半期	24.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	429,201	219,043	45.8	552.26
21年3月期	445,911	211,487	42.3	530.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 196,565百万円 21年3月期 188,807百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	308,000	△18.5	15,000	41.7	13,000	58.3	6,000	363.0	16.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	364,942,682株	21年3月期	364,942,682株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,013,851株	21年3月期	8,987,467株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	355,941,939株	21年3月期第2四半期	359,421,224株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の6ページを参照してください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	△11.6	8,000	—	8,000	—	3,000	—	8.43

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、景気が持ち直しつつあるとも言われておりますが、依然として需要回復に力強さは無く、為替は円高・ドル安が進行し、雇用情勢は厳しさを増すなど、予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、販売数量が大きく減少したことにより、1,436億84百万円（前年同期比31.3%減）となりました。固定費削減などのコストダウンに取り組みましたものの、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下が影響して、利益面では、営業利益51億15百万円（前年同期比69.8%減）、経常利益47億35百万円（前年同期比71.7%減）、四半期純利益21億29百万円（前年同期比76.0%減）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりです。

〔セルロース事業部門〕

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の需要が回復傾向で推移いたしましたが前年同期の販売数量に至らず、繊維用途の需要減少などもあって、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、平成21年1月に販売価格の是正を行いました。当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことによる生産量の減少、海外顧客による在庫削減や円高の影響などにより、売上高は減少いたしました。

WSP（水溶性高分子）は、一部の医薬・化粧品用途向けの販売は堅調に推移いたしましたが、主に海外向けの販売数量が減少したことにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、370億39百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は、当第2四半期連結累計期間前半までの原燃料価格の低下や、コストダウンなどにより、57億48百万円（前年同期比微増）となりました。

〔有機合成事業部門〕

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けを中心に需要は回復傾向で推移いたしましたが前年同期の販売数量に至らず、当第2四半期連結累計期間前半までの原料価格の下落を背景とした販売価格の低下もあって、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体および各種溶剤類などの汎用品は、一部の電子材料向けの需要は回復傾向にありますが、全般的には景気低迷の影響で需要が減少し、販売価格も低下したことにより、売上高は減少いたしました。

カプロラク톤誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、アジア向けの需要は回復傾向にありますが、欧米向けを中心に需要の低迷が続き、売上高は減少いたしました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インド向けのカラム販売は好調に推移いたしましたが、一部製品の需要減や円高の影響により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、342億76百万円（前年同期比36.3%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下などにより、21億53百万円（前年同期比66.4%減）となりました。

〔合成樹脂事業部門〕

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社を中心とした企業群が事業を行っております。当第2四半期連結累計期間にあたる平成21年1～6月においては、主要製品の販売が回復傾向で推移いたしましたが、前年同期の販売数量に至らず、売上高は減少いたしました。

AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、販売数量は回復傾向にありますが、国内向けを中心に家電製品や自動車などの生産調整の影響を受けて前年同期の水準には至らず、売上高は減少いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、景気低迷の影響に加え、三国プラスチック株式会社を前第3四半期連結会計期間より当社の連結会社から除外したことも影響し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、477億77百万円（前年同期比40.0%減）、利益面では、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も大きく影響し、営業損失64百万円（前年同期は営業利益51億77百万円）となりました。

[火工品事業部門]

国内外における自動車生産は回復傾向にありましたものの、依然として低水準で推移いたしました。その影響により、自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）の販売数量は大きく落ち込み、売上高は減少いたしました。また、シートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）も、前年同期の販売数量に至らず、売上高は減少いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の販売増などにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、218億11百万円（前年同期比34.8%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も影響し、10億47百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療用分野向け製品や下水道分野向け製品の販売は減少いたしました。排水処理など一般産業分野向け製品の販売は堅調に推移し、売上高は横這いとなりました。

その他新規機能性材料などは、景気低迷により需要が減少し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、27億79百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益は、1億86百万円（前年同期比53.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、投資有価証券の時価評価は増加いたしました。たな卸資産、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比し167億10百万円減少し、4,292億1百万円となりました。

負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末に比し242億66百万円減少し、2,101億58百万円となりました。

また、純資産は、2,190億43百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、1,965億65百万円となり、自己資本比率は45.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は313億75百万円（前年同期比19.9%増）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益37億11百万円、減価償却費184億84百万円及びたな卸資産の減少102億62百万円であり、資金減少の主な内容は、売上債権の増加32億13百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は117億円（前年同期比6.7%減）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出109億89百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は266億70百万円（前年同期比154.8%増）となりました。資金増加の主な内容は、長期借入による収入150億93百万円、資金減少の主な内容は、短期借入金の減少による支出242億96百万円、長期借入金の返済による支出155億23百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は243億37百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、景気の底入れという見方がある一方で、個人所得や雇用の悪化、各国の緊急経済対策終了に伴う需要減退が起こるとの予測があることに加え、為替の円高・ドル安傾向の長期化なども懸念され、非常に不透明で予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは固定費削減などのコストダウンに引き続き取り組んでおりますが、原燃料価格の上昇、円高、製品需要の不透明感などから、第3～第4四半期の6ヶ月間の業績は、期初（平成21年5月13日時点）の想定よりも厳しい状況で推移すると考えております。

上記ならびに当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成22年3月期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	305,000	11,000	9,000	4,500	12円64銭
今回発表予想（B）	308,000	15,000	13,000	6,000	16円86銭
増減額（B－A）	3,000	4,000	4,000	1,500	
増減率（％）	1.0	36.4	44.4	33.3	
（ご参考）前期実績	377,979	10,589	8,214	1,296	3円62銭

平成22年3月期の個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	180,000	6,500	6,500	2,000	5円62銭
今回発表予想（B）	182,000	8,000	8,000	3,000	8円43銭
増減額（B－A）	2,000	1,500	1,500	1,000	
増減率（％）	1.1	23.1	23.1	50.0	
（ご参考）前期実績	205,955	△241	△4,144	△7,495	△20円92銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算出する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,352	30,522
受取手形及び売掛金	63,770	59,733
有価証券	26	25
たな卸資産	66,574	75,984
その他	14,345	19,420
貸倒引当金	△161	△141
流動資産合計	168,908	185,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,398	52,512
機械装置及び運搬具（純額）	95,605	102,269
土地	26,548	26,486
建設仮勘定	13,192	11,706
その他（純額）	3,094	3,364
有形固定資産合計	190,839	196,340
無形固定資産	4,089	3,899
投資その他の資産		
投資有価証券	50,278	43,211
その他	15,324	17,154
貸倒引当金	△238	△240
投資その他の資産合計	65,364	60,125
固定資産合計	260,293	260,365
資産合計	429,201	445,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,432	33,471
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	32,800	56,683
1年内返済予定の長期借入金	24,434	26,450
未払法人税等	1,268	1,199
修繕引当金	898	2,705
その他	18,108	20,647
流動負債合計	122,943	151,157
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	61,523	59,468
退職給付引当金	8,548	8,705
役員退職慰労引当金	65	116
修繕引当金	272	46
その他	6,805	4,928
固定負債合計	87,215	83,266
負債合計	210,158	234,424

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,576	31,576
利益剰余金	123,053	122,347
自己株式	△4,091	△4,077
株主資本合計	186,814	186,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,954	9,150
繰延ヘッジ損益	△168	△193
為替換算調整勘定	△4,034	△6,270
評価・換算差額等合計	9,751	2,685
少数株主持分	22,477	22,679
純資産合計	219,043	211,487
負債純資産合計	429,201	445,911

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	209,201	143,684
売上原価	163,956	115,108
売上総利益	45,244	28,575
販売費及び一般管理費	28,305	23,460
営業利益	16,939	5,115
営業外収益		
受取利息	220	92
受取配当金	542	387
持分法による投資利益	225	534
その他	793	765
営業外収益合計	1,780	1,780
営業外費用		
支払利息	1,433	1,244
その他	549	915
営業外費用合計	1,983	2,160
経常利益	16,736	4,735
特別利益		
固定資産処分益	16	2
投資有価証券売却益	32	10
補助金収入	233	—
特別利益合計	281	12
特別損失		
固定資産除却損	954	637
減損損失	79	—
固定資産圧縮損	220	—
和解金	—	398
特別損失合計	1,254	1,036
税金等調整前四半期純利益	15,763	3,711
法人税、住民税及び事業税	4,894	1,112
法人税等調整額	535	1,078
法人税等合計	5,430	2,190
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,455	△609
四半期純利益	8,877	2,129

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,763	3,711
減価償却費	17,319	18,484
減損損失	79	—
受取利息及び受取配当金	△762	△479
支払利息	1,433	1,244
持分法による投資損益(△は益)	△225	△534
固定資産除売却損益(△は益)	938	635
固定資産圧縮損	220	—
補助金収入	△233	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,777	△3,213
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,929	10,262
仕入債務の増減額(△は減少)	4,441	1,421
その他	△776	65
小計	31,047	31,597
利息及び配当金の受取額	1,035	697
利息の支払額	△1,485	△1,252
法人税等の支払額	△4,429	△1,690
法人税等の還付額	—	2,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,168	31,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,585	△10,989
有形固定資産の売却による収入	29	3
無形固定資産の取得による支出	△527	△199
投資有価証券の取得による支出	△183	△10
貸付けによる支出	△1,308	△28
貸付金の回収による収入	341	523
収用に係る補償金入金による収入	5,880	—
補助金収入	233	—
その他	△1,420	△998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,539	△11,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,774	△24,296
長期借入れによる収入	1,412	15,093
長期借入金の返済による支出	△12,731	△15,523
自己株式の取得による支出	△34	△14
自己株式の売却による収入	4	0
配当金の支払額	△1,437	△1,423
少数株主への配当金の支払額	△457	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,468	△26,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△687	824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,473	△6,170
現金及び現金同等物の期首残高	20,740	30,507
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△32	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,180	24,337

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	38,935	53,804	79,663	33,447	3,350	209,201	—	209,201
(2)セグメント間の内部売上高	1,696	10,673	2	—	6,219	18,592	(18,592)	—
計	40,631	64,478	79,666	33,447	9,570	227,794	(18,592)	209,201
営業利益	5,699	6,414	5,177	3,123	401	20,816	(3,876)	16,939

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	37,039	34,276	47,777	21,811	2,779	143,684	—	143,684
(2)セグメント間の内部売上高	1,174	4,634	1	—	4,475	10,287	(10,287)	—
計	38,214	38,911	47,779	21,811	7,254	153,972	(10,287)	143,684
営業利益又は 営業損失(△)	5,748	2,153	△64	1,047	186	9,071	(3,956)	5,115

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	155,716	36,264	17,219	209,201	—	209,201
(2) セグメント間の内部売上高	21,959	7,971	1,328	31,259	(31,259)	—
計	177,676	44,236	18,547	240,460	(31,259)	209,201
営業利益	15,928	4,871	16	20,816	(3,876)	16,939

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	112,549	21,997	9,137	143,684	—	143,684
(2) セグメント間の内部売上高	13,607	4,875	588	19,070	(19,070)	—
計	126,156	26,872	9,725	162,755	(19,070)	143,684
営業利益又は営業損失(△)	8,070	1,273	△272	9,071	(3,956)	5,115

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	51,378	27,967	79,345
II 連結売上高（百万円）	—	—	209,201
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	24.6	13.3	37.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	32,249	17,594	49,844
II 連結売上高（百万円）	—	—	143,684
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	22.4	12.3	34.7

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(国内普通社債の発行)

当社は、平成21年11月6日開催の取締役会において、次のとおり国内普通社債を発行することを決議いたしました。

- (1) 銘柄：国内無担保社債
- (2) 発行総額：200億円以内（但し、この範囲内で複数回の発行を妨げない）
- (3) 発行年月日：平成21年11月16日より平成22年3月25日まで
- (4) 発行価額：額面100円に付き金100円
- (5) 利率：償還年限に対応するスワップレート+1.0%以下
- (6) 償還期限：5年から10年まで
- (7) 償還方法：満期一括償還
- (8) 使途：社債償還資金、設備資金及び借入金返済資金に充当